

2020年1月17日

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院小児科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

ドレナリン自己注射(エピペン®)の手技の指導法についての研究

[研究の背景と目的]

エピペン®は食物アレルギーのある患者さんなどが、重度のアレルギー症状(アナフィラキシー症状)を起した際に使用する自己注射型の治療薬です。注射薬であるため患者様ないしは保護者様の使用方法の習得が必須となっておりますが、緊急時に上手く打てない、所持していなかったなどの報告があります。

2018年4月より患者さんのエピペンの使用方法の指導回数を増やしております。実際の習得状況の確認ならびに、習得しづらい所の確認をしたいと思っております。

[研究の方法]

●対象となる方

2018年6月から2019年5月までにエピペンを処方された患者さん。

●研究期間

2020年1月17日から2023年3月31日

●利用する検体やカルテ情報

カルテから、年齢、性別、エピペンの使用方法の獲得状況、管理法など。

●検体や情報の管理

上記の患者さんの情報を匿名化。当科にて結果を集計いたします。

[研究組織]

研究責任者

・東京医科大学病院小児科 助教 三浦 太郎

研究分担者

- ・東京医科大学病院小児科 助教 千代反田 雅子
- ・東京医科大学病院小児科 助教 赤松 信子
- ・東京医科大学病院小児科 臨床講師 長尾 竜平
- ・東京医科大学病院薬剤部 六谷 紀与
- ・東京医科大学茨城医療センター小児科 助教 呉 宗憲
- ・東京医科大学八王子医療センター小児科 講師 鈴木 俊輔

[個人情報の取扱い]

患者さんの ID 等は記載せず、第三者からは患者さんが分からないようにしてデータ管理を行います。

管理責任者は当科、三浦太郎 医師です。

これらをまとめたデータは学会や論文などで公表されます。公表において患者さん個人のデータを取り上げたり、患者さんの名前が分るようなものが公表されることはございません。

[問い合わせ先]

東京医科大学病院

小児科 助教 三浦 太郎

小児科 助教 千代反田 雅子

電話 : 03-3342-6111